

**【表紙】**

**【提出書類】** 有価証券届出書の訂正届出書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成22年12月24日

**【発行者名】** アーカス・インベストメント(ルクセンブルグ)エス・エイ  
(Arcus Investment (Luxembourg) S.A.)

**【代表者の役職氏名】** 取締役会長 アンドリュー・ペッジ  
(Andrew Pegge)

**【本店の所在の場所】** ルクセンブルグ大公国 ルクセンブルグ L-2535  
エマニュエル・セルベ通り20番  
(20, Boulevard Emmanuel Servais, L-2535 Luxembourg,  
Grand Duchy of Luxembourg)

**【代理人の氏名又は名称】** 弁護士 一木 剛太郎

**【代理人の住所又は所在地】** 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号  
丸の内パークビルディング  
森・濱田松本法律事務所

**【事務連絡者氏名】** 弁護士 一木 剛太郎

**【連絡場所】** 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号  
丸の内パークビルディング  
森・濱田松本法律事務所

**【電話番号】** 03 (6212) 8316

**【届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券に係るファンドの名称】**  
アーカス・ジャパン・ロング/ショート・ファンド  
(Arcus Japan Long/Short Fund)  
(「アーカス・ジャパン・エル/エス・ファンド」と称することがある。)

**【届出の対象とした募集(売出)外国投資信託受益証券の金額】**  
リテイル・クラス証券について、1,000億円を上限とする。

**【縦覧に供する場所】** 該当事項なし

## 1 【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

アーカス・ジャパン・ロング/ショート・ファンド(Arcus Japan Long/Short Fund)の平成22年11月30日に提出した有価証券届出書(以下「原届出書」といいます。)の記載事項に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

## 2 【訂正の内容】

\*下線部\_は訂正部分を示します。

### 第二部 ファンド情報

#### 第1 ファンドの状況

##### 1 ファンドの性格

###### (1) ファンドの目的及び基本的性格

訂正前

- 前略 -

ファンドの投資目的は、日本企業のフェアバリュー(投資価値)に着目し、そのロングポジションかショートポジションまたはその両方に投資を行うことによって、日本の株式市場全般のボラティリティと比べ安定的で、かつ長期的なファンド資産の成長を目指すことにある。

訂正後

- 前略 -

ファンドの投資目的は、日本企業のフェアバリュー(公正価値)に着目し、そのロングポジションかショートポジションまたはその両方に投資を行うことによって、日本の株式市場全般のボラティリティと比べ安定的で、かつ長期的なファンド資産の成長を目指すことにある。

### (3) ファンドの仕組み

管理会社とファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割および契約等の概要

訂正前

- 前略 -

(注1) 保管および業務契約とは、ファンド約款の規定に基づき、管理会社によって資産の保管会社として任命された保管受託銀行が有価証券の保管、引渡しおよび登録等ファンド資産の保管業務等を行うことを約し、また管理会社によって任命された管理事務・登録・名義書換および支払事務代行会社が、記録の維持、券面の処分、申込みおよび買戻しの取扱いならびに純資産価格の計算等を行うことを約する契約をいう。

- 後略 -

訂正後

- 前略 -

(注1) 保管および業務契約とは、ファンド約款の規定に基づき、管理会社によって資産の保管会社として任命された保管受託銀行が有価証券の保管、引渡しおよび登録等ファンド資産の保管業務等を行うことを約し、また管理会社によって任命された管理事務・登録事務・名義書換および支払事務代行会社が、記録の維持、券面の処分、申込みおよび買戻しの取扱いならびに純資産価格の計算等を行うことを約する契約をいう。

- 後略 -

## 2 投資方針

### (1) 投資方針

訂正前

ファンドの投資目的は、日本企業のフェアバリュー(投資価値)に着目し、そのロングポジションかショートポジションまたはその両方に投資を行うことによって、日本の株式市場全般のボラティリティと比べ安定的で、かつ長期的なファンド資産の成長を目指すことにある。

投資運用会社は、景気後退を乗切る財務面の強さがあり経済回復の局面において利益を上げることができる  
と判断される日本企業について、フェアバリュー(投資価値)から割安と判断される銘柄への投資を行い、一方で割高と判断される銘柄のショート(カラ売り)ポジションをとり割高修正の過程で生まれる利益で運用成果の向上を目指す。

- 後略 -

訂正後

ファンドの投資目的は、日本企業のフェアバリュー(公正価値)に着目し、そのロングポジションかショートポジションまたはその両方に投資を行うことによって、日本の株式市場全般のボラティリティと比べ安定的で、かつ長期的なファンド資産の成長を目指すことにある。

投資運用会社は、景気後退を乗切る財務面の強さがあり経済回復の局面において利益を上げることができる  
と判断される日本企業について、フェアバリュー(公正価値)から割安と判断される銘柄への投資を行い、一方で割高と判断される銘柄のショート(空売り)ポジションをとり割高修正の過程で生まれる利益で運用成果の向上を目指す。

- 後略 -

### 3 投資リスク

#### リスク要因

##### 訂正前

- 前 略 -

##### - ショート・セリング

ショート・セリング(空売り)は、ロングポジションによる投資に比べ、より大きなリスクを伴う。株式のショート・セイルは、株式の市場価格が限りなく値上がりするリスクがあり、これにより、ショートポジションをカバーすることができず、また、理論的には無限の損失が生じうる。

- 後 略 -

##### 訂正後

- 前 略 -

##### - ショート・セリング

ショート・セリング(空売り)は、ロングポジションによる投資に比べ、より大きなリスクを伴う。株式の空売りは、株式の市場価格が限りなく値上がりするリスクがあり、これにより、ショートポジションをカバーすることができず、また、理論的には無限の損失が生じうる。

- 後 略 -

## 5 運用状況

## (3) 運用実績

## 純資産の推移

## 訂正前

- 前略 -

	純資産総額	1口当りの純資産価格
	円	
- 中略 -		
平成22年1月末日	3,705,907,221	25,440
2月末日	3,697,633,280	<u>26,049</u>

- 後略 -

## 訂正後

- 前略 -

	純資産総額	1口当りの純資産価格
	円	
- 中略 -		
平成22年1月末日	3,705,907,221	25,440
2月末日	3,697,633,280	<u>26,131</u>

- 後略 -

## (4) 販売及び買戻しの実績

訂正前

- 前略 -

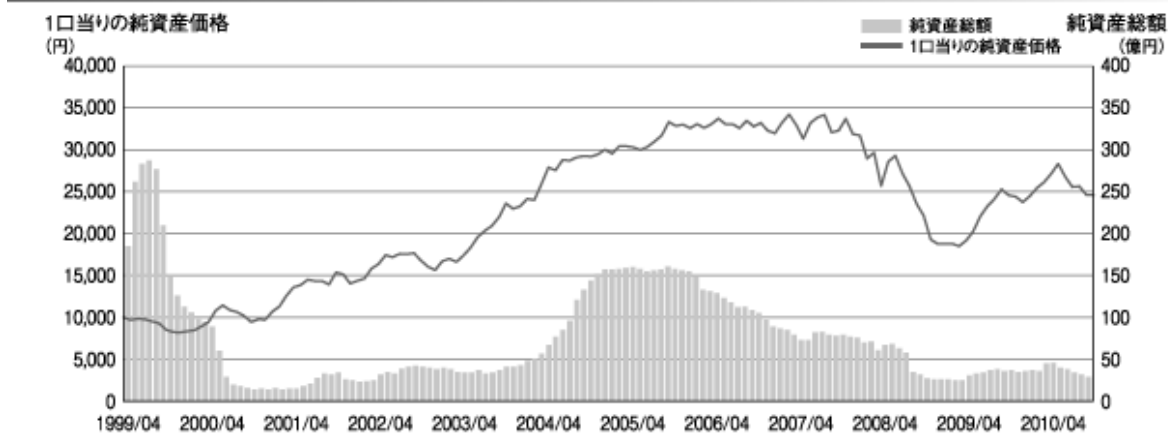
	販売口数	本邦内における販売口数	買戻し口数	本邦内における買戻し口数	発行済口数	本邦内における発行済口数
- 中略 -						
第11会計年度	51,575	<u>51,575</u>	52,825	<u>52,605</u>	151,719	<u>106,096</u>

&lt; 参考情報 &gt;

- 中略 -

## 純資産総額および1口当りの純資産価格の推移

(1999年4月28日から2010年9月末日まで)



(注) 純資産総額は、アーカス・ジャパン・ロング/ショート・ファンドの全てのクラスの純資産額の総額である。

- 後略 -

訂正後

- 前略 -

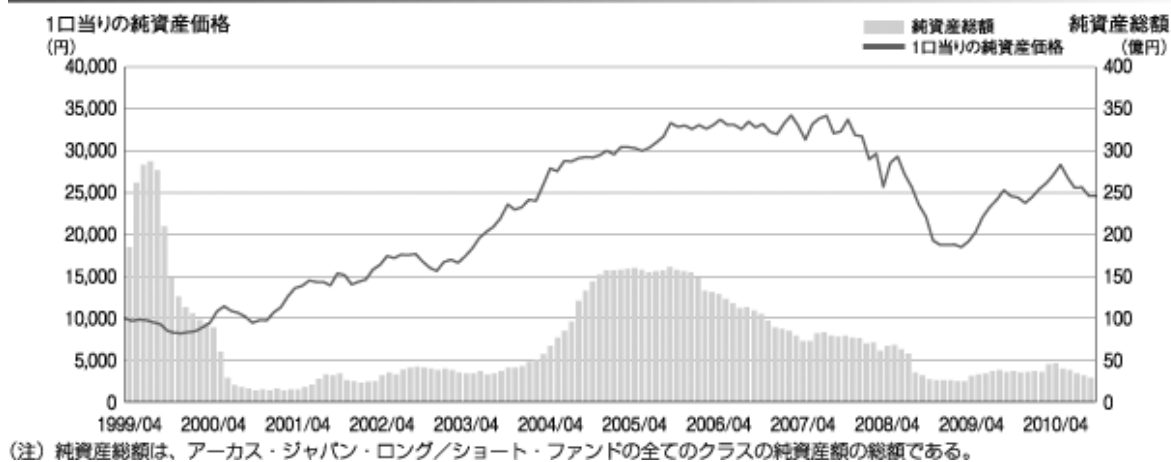
	販売口数	本邦内における販売口数	買戻し口数	本邦内における買戻し口数	発行済口数	本邦内における発行済口数
- 中略 -						
第11会計年度	51,575	100	52,825	27,039	151,719	80,187

&lt; 参考情報 &gt;

- 中略 -

### 純資産総額および1口当りの純資産価格の推移

(1999年4月28日から2010年9月末日まで)



- 後略 -